

## 平成 29 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

### 1 集落の状況及び集落協定の概要

都道県名：愛媛県

市町村名：松山市

島名：怒和島

協定締結集落名：元怒和集落

基本交付額：5,033千円

協定参加世帯数：36世帯(66人)

(うち漁業世帯数36世帯(66人))

### 2 協定締結の経緯

元怒和集落は、漁業者の減少や高齢化が進行している。また、魚価の低迷等により、漁業経営は、厳しい状況におかれている。

こうしたことから、漁場環境の保全、沿岸漁業資源の保護、新規養殖業の導入、漁業集落の活性化、所得の向上を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

### 3 取組の内容

#### ①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・キジハタを2,500匹を元怒和周辺海域に放流し資源の増大を図った。
- ・密漁や違反操業又は違反漁具の使用等から地先資源の保護及び漁具の保全を図るため、漁場監視を行った。(年間19回)

#### ②漁業の再生に関する実践的な取組状況

- ・イカ柴を設置し、アオリイカの産卵場・育成場の整備を行ない、漁場の生産力向上を図った。
- ・ハマチの蓄養に共同で取り組み、神経メによる品質向上や蓄養筏の補修などを行い、所得の向上を図った。
- ・所得の向上と集落の活性化を図るため、水産物の簡易加工に共同で取り組み、加工品と鮮魚等をイベントで販売した。
- ・ヒジキ養殖ロープの設置など行い、漁場の改善を図った。

### 4 取組の成果

- ・キジハタの種苗放流を実施することにより、資源の増加が見込まれる。
- ・アオリイカの産卵場を整備することで、漁獲量の向上が見込まれる。
- ・漁場監視を実施することにより、地先資源の保護が図られ、違反操業の減少し、漁獲

量の増加も見込まれ漁家の収入安定が期待される。

- ・ハマチの蓄養、水産物の簡易加工に共同で取り組み、イベントでの販売を行い、漁家所得の向上と、漁業生産力の向上が図られた。
- ・ヒジキの増殖に取り組むことにより漁場の改善を図り、生産力の向上が見込まれる。

種苗放流	漁場監視
	
ハマチの蓄養	ヒジキの養殖
	
水産物加工品のイベント販売	
	